# 北区社協だより

NO. 72
平成26年1月発行

もくじ

★地区福祉のまち推進センターの取り組み紹介……P2~3
★移送サービスボランティア募集……P4
★北区ボランティア連絡会活動紹介……P5
★ふれあい・いきいきサロンのご紹介……P6
★赤い羽根共同募金にご協力お願いします……P7
★寄付お礼、賛助会員紹介・募集、
福祉除雪事業について……P8

編集発行／社会福祉法人 札幌市北区社会福祉協議会
北区北24条西6丁目 北区役所1階
TEL 011-757-2482 FAX 011-737-7270

## ボランティア展2013 ～育てよう、思いやり。

「ボランティア展」は、「温かい地域社会の中で、子どもたちに思いやりの心を育てたい」という親たちの願いを込めて1997年から毎年開催しており、今回で17年目を迎えました。今では市民運動として定着し、地域の方々とのふれあいの場となっております。

今年度もたくさん参加者が来場し、障がいのある方も、お年寄りも、子どもたちも、みんな一緒になって「ふれあいコーナー」で折り紙を折ったり、手話や盲導犬の講習を受けたり、障がいのある方々によるステージを楽しんだりして、「温かい地域社会をつくるために自分にできることは何か。」ということを感じ、考える一日となりました。

沢山のご参加ありがとうございました。

毎月3日は見守り・訪問の日 見守り・訪問活動の輪を広げましょう

～毎月3日は「見守り・訪問の日」です!～

# 福祉のまち推進センターの取り組み紹介

## 新琴似地区　高齢の方も子どももみんなが笑顔に！『異世代ふれあい交流会』

### 新琴似南会館

新琴似地区では、地域ぐるみでお互いが支え合い、だれもが安心して暮らせるまちづくりを目指して、高齢の方と子ども達が一緒に昔遊びやお話しをしながら楽しく交流を深める「異世代ふれあい交流会」を開催しました。

この取り組みは昨年から始まり、今年は新琴似南ブロック・北ブロックの町内会を中心に、老人クラブ、子ども会などと協力して、新琴似南会館（10/12）と新琴似北会館（10/13）の2か所で行われ、合わせて267名の方が楽しいひとときを過ごしました。

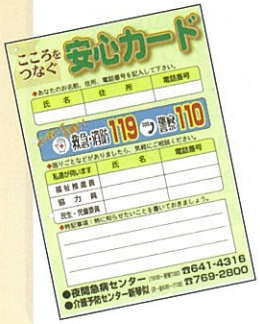
当日は、子どもたちが普段あまり触れることのない「お手玉、けん玉、メンコ」といった昔遊びを、高齢の方が教えながら一緒に楽しむ場面がたくさん見られました。

このほかにも、紙芝居の読み聞かせや輪投げ、ハッピーボウリング、お汁粉の提供など盛りだくさんの内容で、異世代間の交流を深めました。

### 新琴似北会館

## 広がっています。見守りの輪！

**新琴似五番通第三福祉の会**では、「高齢者一人暮らし見守り隊」を組織化して、町内の高齢者の見守り活動を進めています。



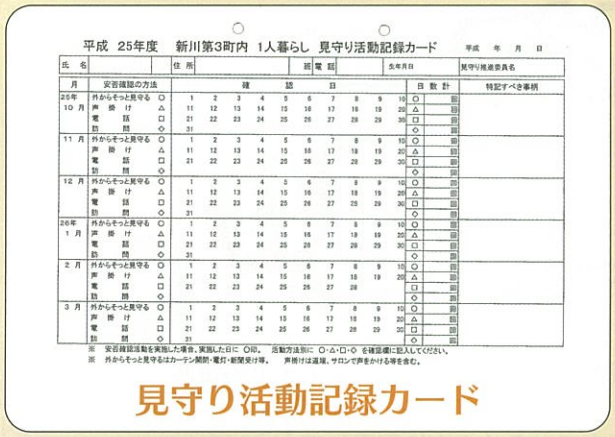

福祉のまち推進センターで作成した「安心カード」を対象の高齢者へ配布する取り組みをきっかけに、民生委員と推進員が連携した見守り活動に取り組み始めました。

「安心カード」には、担当の民生委員、推進員、協力員（ご近所さん）の名前を記入する欄があり、この三者で見守りの対象宅を訪問し、まずは顔合わせから活動をスタートします。何か異変に気付いた場合には推進員等へ連絡する体制をとっており、地域の高齢者が安心して暮らすことできるまちづくりを進めています。

ボランティア研修センターで
活動発表する代表の中村氏

新川地区

# 雨にも負けず・・・見守り・訪問活動



平成　25年度　新川第3町内　1人暮らし　見守り活動記録カード

見守り活動記録カード

新川第3町内会では、毎月第3水曜日の午後3時に、町内の中心部に位置する太陽公園に推進委員が集合して、一斉に対象の高齢者宅を見守り・訪問する取り組みを続けています。

公園に集合した推進委員が4グループに別れて、それぞれ担当のお宅に訪問し、「町内会の見守りです。お元気ですか？お変わりありませんか？」など声をかけ、安否確認を行っています。

この取り組みを始めてから2年半ほどになりますが、雨の日も雪の日も変わらず続けているそうです。

10月の活動日も、あいにくの雨でしたが、福祉のまち推進センターで作成した見守り活動専用の帽子・腕章をした推進委員が、雨の中、傘を差しながら活動しました。

訪問を受けた高齢者からは、「ごくろうさまです。おかげさまで安心して暮らせます。」と感謝の言葉が聞かれました。

訪問宅が不在の場合は、連絡先を記載した不在連絡票を投函して、帰宅した際に本人から連絡をもらうことにしており、きめ細かい安否確認の取り組みをしています。

また、活動後には、見守り活動記録カードに状況を記録して、定期的に福祉のまち推進センターへ報告しています。

いくつになっても住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくりのため、町内会役員・民生委員が一体となって、雨にも負けず雪にも負けず活動を進めています。

## 「見守り・訪問活動」関連パンフレットのご紹介

地域における「見守り・訪問活動」は、携わる地域住民の方々の努力によって確実に広がってきています。

社会福祉協議会では、「見守り・訪問活動」を基本とした「福祉のまち推進事業」の取り組みを紹介するリーフレットや、様々な地域で創意工夫しながら実践されている支え合い活動を紹介した事例集を作成し、活動の普及に努めています。

これらの冊子は北区社会福祉協議会の事務所で無料配布しておりますので、お住まいの地域での福祉活動の実践にお役立てください。

# 新琴似小学校ボランティア体験講座

6年生約100名を対象に、「車いす」「アイマスク」「高齢者体験セット」を使いボランティア体験をしました。

講師のボランティア展実行委員会の方々の話を聞き実際に体験する中で、高齢者や障がいを持った方々の気持ちを知って自分たちがサポートするときの経験にしようと、生徒達は皆楽しみながら真剣に取り組んでいました。

今後の社会を支える新琴似小学校の生徒達は、今回学んだことを活かし活躍してくれることでしょう！

# 移送サービス運転ボランティア募集!!

## ～気軽な外出をサポートします～

移送サービスとは、公共交通機関での移動が困難な障害者や高齢者を運転ボランティアの送迎によりサポートするサービスです。

通院の為の利用からレジャーや買い物などの気軽な外出まで、多くの方に利用してもらいたいと思っています。しかし、多くの方に利用してほしい気持ちの一方で運転ボランティアが不足し、利用者の要望に応えることができないこともあるというのが現状です。

そこで、あなたのやさしさをハンドルにこめ、運転ボランティアとして活動してみませんか!?

多くの方のご応募をお待ちしております!!

**資格条件** 二種免許をお持ちの方
（一種免許のみ所有の方は、本会指定の講習を受講していただきます）

**活動内容** 福祉車両の運転、乗降時の車いす介助
月～金（土、日、祝日、年末年始は除く）9：00～17：00の間の利用時間
活動日は固定ではなく都合の良い時活動

**そ の 他** 交通費として1日400円支給（平成26年4月からは、1日500円）

**関心のある方は、北区社会福祉協議会までご連絡ください。**

# 平成25年度『ボランティア交流会』

例年開催している『ボランティア交流会』を、今年度も来たる2月19日（水）に、北区民センター 3階の区民ホールで開催します。

昨年度は区内の学生ボランティア活動に特化して開催したこの行事、今年度も学生たちのほか、北区ボランティア連絡会に登録しているグループの活動報告も交えて開催します。

それに先立って、午前中には、北区社協でボランティア登録をされている行政書士の方を講師として招き「終活」に関わる話をお話ししていただきます。

プログラムの中には、アトラクションとして、北海道大学のボランティアグループによる『落語』の披露や、参加者みんなで楽しむゲームやバルーンアートもありますので、話を聞いたりして学ぶだけではなく、体験して今後のボランティア活動に活かせる内容になっています。

普段はまったく違う活動をしていて、会う機会のないボランティアさんたちとの良い交流の場となりますようご案内申しあげますので、たくさんのご参加をお待ちしております。

申込が必要となりますので、2/14（金）までに下記連絡先にTELかFAXでお申し込みください。

**申込先**

**北区ボランティア連絡会事務局**　TEL：757−2482　FAX：737-7270
〒001-0024　北区北24条西6丁目　北区役所1階　北区社会福祉協議会内

## 個人ボランティアサロンを開催しました

最近、個人でボランティア活動を行っている中で、「色々な活動をしている人の話を聞いてみたい」「情報交換する場が欲しい」といった声を聞くことが多々ありました。

そこで、北区ボランティア連絡会では、普段個人ボランティアとして活躍されている皆様が集まり意見交換や交流ができる場としてボランティアサロンを継続的に開催していくことを検討しています。

今回は初回ということで、どのような内容でサロンを進めていくと良いか、お茶を飲みながら、皆様からご意見やご要望をいただくということが中心となりましたが、今後は、今回出た意見や、開催していく中で出た意見を参考にし、ボランティア1人1人のご苦労や悩みを共有する場を提供していきたいと思っています。

次の機会には皆様是非ご参加ください！！

# ふれあい・いきいきサロン

ふれあい・いきいきサロンは、身近な住民同士の『仲間づくり』や『出会いの場づくり』を進める活動です。

皆さんの身近にも、高齢の方や、障がいをお持ちの方、小さなお子さんがいるご家庭など、一人で心配ごとや悩みごとを抱え、寂しい思いをしている方がいませんか？

身近な地域で暮らす住民が集まって、『おしゃべり』などを楽しみながら、友達・仲間の幅を広げ、定期的な交流を通して、一人ひとりの『自分らしさ・生きがい』など、心豊かな暮らしをお互いに応援しあっていく、それがふれあい・いきいきサロンです。

社会福祉協議会では、運営のアドバイスや運営費の一部助成など、地域の温かな交流を応援しています。

（※北区内の登録サロン数：64サロン）

## むつみ会

むつみ会は、インペリアルというマンション内で開催されているサロンです。

67歳から90歳までの方が参加しており、曜日によって違うメニューの体操を行っています。

メニューは、参加者がテレビで見たものなどで意見を出し合い決めて、約一時間をかけてこなしていきます。ただ体を動かすだけでなく、声を発しながら行うなどの工夫もありすごく本格的なものとなっています。

体操などのあとは、「ラミィキューブ」というボードゲームを行います。参加者からは、「頭と目をかなり使うゲームで、楽しいしすごくいい」と好評です。

ほぼ毎回欠席者もなく全員が参加していて、この集まりがある日には予定を入れない、という方がいるくらいに楽しいサロンになっています。

言葉だけでなく、見ていても本当に楽しんで集まっているんだなと感じられるサロンでした。

開催日　毎週月・水・金・日曜日　13:00～16:00
場　所　北35条西6丁目1-1 インペリアル集会場

## サロンいこい

サロンいこいは、代表の吉田さんの「誰でも気兼ねなく参加できる会を作りたい」との思いで出来たサロンです。現在は登録者が87名おり、平均参加者は35名と大人数で交流をはかれるサロンです。当日の参加もOKで、この日も2名の初参加の方がいました。

この日の内容は、介護予防センター職員による健康体操、恒例となっているサロン参加者の澤田さんの日本舞踊、その後は茶話会。

最初から最後まで参加者全員大きな声で交流をしていて、「月1回の楽しみで、次の月が今から楽しみ」「冬は外に出るのがおっくうだけど、このサロンは別」などの声が上がっていました。

「近所の人たちが声を掛け合って参加してもらえれば1番いい」という会長の発言のとおり、「サロンいこい」は皆のコミュニケーションをはかる場であると同時に、憩いの場なんだなと感じました。

開催日　毎月第1木曜日　10:00～12:00
場　所　新琴似8条9丁目2－1マルシンビル3F

ご協力ありがとうございました!!

# 赤い羽根共同募金運動

赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後直後の1947年（昭和22年）に、市民が主体の取り組みとしてスタートしました。

当初は戦後復興の一助として、戦争の打撃をうけた福祉施設を中心に資金支援する活動としての機能を果たしてきました。

その後、「社会福祉事業法（平成12年社会福祉法に改正）」という法律をもとに「民間の社会福祉の推進」に向けて、社会福祉事業の推進のために活用されてきました。

そして60年以上たった今、社会が大きく変化する中で、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金は市民主体の運動を進めています。

赤い羽根共同募金は、市民自らの行動を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

## 平成25年「北区街頭募金運動」結果報告

10月1日から全国各地で実施されている赤い羽根の「街頭募金運動」。北区でも10月1日から5日までの5日間で行われました。

今年度は、述べ505名の方々に募金ボランティアとしてご参加いただき、総額655,334円という多額のご厚意が市民の皆様方から寄せられました。

期間中、貴重な募金をいただきました市民の皆様方はもとより、街頭募金ボランティアとして参加してくださいました老人クラブや民生委員をはじめとする協力団体の皆様方、募金場所の提供にご協力くださいました区内各店舗・地下鉄駅・施設などの関係者の皆様方、本当にありがとうございました。

じぶんの町を良くするしくみ。

## 赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金は、あらかじめ助成額を決めてから募金を集める取り組みです。

助成先としては、地域で行われるボランティア活動、サロンの運営、社会福祉施設の整備など、さまざまな民間社会福祉活動を支援しています。

また、助成の決定についても市民参加で実施されています。

都道府県共同募金会には、助成先を決定する「配分委員会」が市民参加により設置され、助成団体や金額が決められます。

集められた募金は、みなさんの身近な地域を良くしていく活動に役立っています。

あの「ゆるキャラ」も赤い羽根共同募金の応援に来てくれました。

＜幌北ふるさと夏まつりでの募金活動＞

# 福祉除雪サービスが始まりました。

例年12月1日から始まる福祉除雪サービスですが、今年は北区にお住まいの774世帯から利用の申し込みがありました。(12月31日現在)

この福祉除雪サービスは、70歳以上の高齢の方や障がいのある方など、積雪により冬期間の生活に不自由されている世帯に対して、地域の協力員さんが助け合い活動の一環として除雪作業を行う取り組みです。

また、除雪作業に加えて利用世帯の安否確認も兼ねており、作業終了後には除雪活動の終了をお知らせしたり、もし郵便受けに新聞や郵便物がたまっているなど、生活の気配が全く感じられない場合などは、北区社会福祉協議会へご連絡いただくことになっています。

地域住民がお互いに助け合う優しい街づくりの一つとして、雪国ならではの温かな取り組みが今年も始まります。

**※利用要件などの詳細は北区社会福祉協議会へ**

**≪除雪作業部分≫**

# あたたかいご寄附ありがとうございました

平成25年
7～12月

**山川雄大 様**……**金208,284円**
(屯田地区社会福祉協議会への指定寄付)

**札幌北更生保護女性会 様**……**金20,000円**

**川南啓子 様**……**金5,000円**

本会愛情銀行に預託し、北区の地域福祉推進のために有効に活用させていただきます。

# 賛助会員を募集しています

本会では、地域における福祉活動を広く推進する財源を確保するため、賛助会員を募集し、会費を募っています。

北区では、この会費を移送サービス運行経費等に充てており、利用者の皆様に大変喜ばれております。

趣旨に賛同し、ご入会いただける方は、本会事務局、又は右記への振込みをもってご入会をお願い申しあげます。

| | |
|---|---|
| 会費額(年額) | 個人(一口)1,000円<br>団体(一口)2,000円 |
| 振込口座(郵便局) | 02760-7-41893 |
| 口座名義 | 社会福祉法人<br>札幌市北区社会福祉協議会 |

## 平成25年7月1日から12月31日までに会員となっていただいた方と団体 [順不同]

### 個人会員

■渡辺郁雄 様
■近藤胤光 様
■鈴木誠 様
■三上博子 様

### 団体会員

■鉄西9·10町内会 様
■幌北第7町内会 様
■新琴似1番通西第3町内会 様
■あかしやタウン自治会 様
■ロイヤルシャトー新琴似町内会 様
■ヴェルヴュ麻生町内会 様
■拓北ナナカマド町内会 様
■新川第8町内会 様
■屯田青柳町内会 様
■創成西町内会 様
■新琴似双葉第四町内会 様

お問い合わせ／社会福祉法人 札幌市北区社会福祉協議会 TEL 011-757-2482 FAX 011-737-7270



毎月3日は見守り・訪問の日 見守り・訪問活動の輪を広げましょう